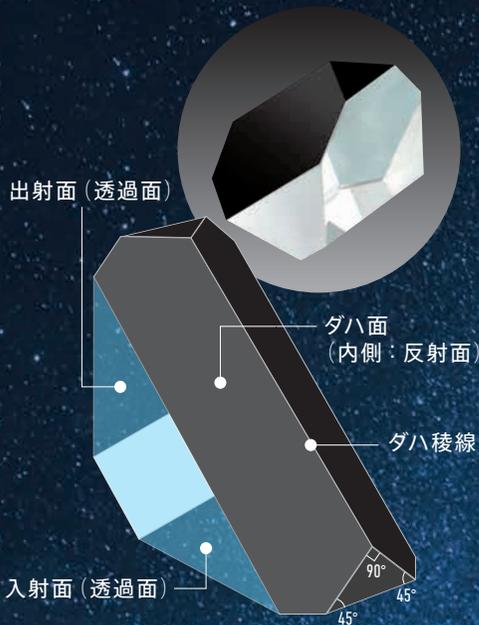


正立天頂プリズムご使用の際の留意事項

正立天頂プリズムには、ダハプリズムの一種「アミチプリズム」を使用しています。

ダハプリズムは、三角（直角）プリズムの底面をダハ面（屋根型）にしたプリズムです。面角90°の屋根型反射面をもち、屋根型プリズム（roof prism）とも呼ばれています。



[図1] アミチプリズムの構成

稜線（りょうせん）を頂点にして、三角屋根のような斜面部分がダハ面（反射面）です。入射面より入った光は、ダハ面で2回反射し左右反転の像になります。[図1]

アミチプリズムの角度構成は「90°、45°、45°」で三角（直角）プリズムと同じですが、ダハ面は直角二面鏡になっているため垂直入射時の倒立像を90°に偏角し正立像にします。[図2]

ダハプリズムはこの構造特性上、金星などの明るい星や高輝度照明を見るとダハ稜線で光条が発生しますが不具合ではございません。[図3]

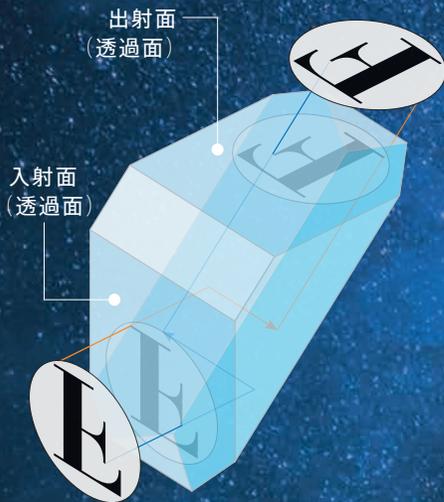
本製品では、反射面に銀コートを施し反射率を適度に抑えることで光条発生を少なくしていますが、光条が見える場合は観望対象をダハ稜線から外してください。[図4]

スマホ・タブレット観望では、カメラアプリ側で適正な明るさに合わせると光条は見えなくなります。[図5]

※アップグレードキット「PalBeans」に付属する「レンズ絞り」を使用することで光条の発生が緩和されます。

本プリズムは、角度精度・面精度の高い日本メーカーで製造をしています。光学ガラス製で、透過面には3層のマルチコーティングを施しています。また、銀コートには320nm以下の波長を吸収する特性があるため、イメージセンサに悪影響をおよぼす紫外線をカットできます。撮像素子の信頼性を向上させています。

高画質映像の動画撮影にも十分威力を発揮しますので、天体写真はもちろん野鳥撮影や自然観察用にお楽しみください。



[図2] アミチプリズムの光路図



[図3] ダハ稜線上の金星



[図4] ダハ稜線から外した金星



[図5] 適正な明るさに調整した金星